

ぐるり39

～自治調査会だより～

2021
8

NO. 095

〔発行日〕
2021.8.1



【写真提供】新島村 【撮影場所】羽伏浦海岸

- ▶ シンポジウム開催のお知らせ 2
- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 3
 狛江市 特別緑地保全地区の保護と啓発活動
 東大和市 東大和狭山緑地管理事業
 三宅村 三宅島緑化プロジェクト支援事業
- ▶ わたげ探偵！！こんな調べてみました！ 4
 ～ぐるっと多摩探訪 その8～

- ▶ 多摩交流センターだより
 ・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介 6
 檜原村お祭り見学会 ～郷土芸能と保存会の想いに触れる～
 ・東京雑学大学2021年9月講義案内 6
- ▶ 理事会・評議員会を開催しました 7
- ▶ 編集後記 7
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～新島村～ 8

Contents

8 月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

シンポジウム開催のお知らせ

ひきこもり支援の必要性 ～多様な生き方を地域で支援する～

これまで、ひきこもりは個人の問題とされ公的な支援があまり実施されていませんでした。ひきこもりは生産年齢人口の減少に伴う働き手不足や税収減、社会保障費の増加に関わり、基礎自治体にとっても潜在的な課題となっています。このため、ひきこもり状態の住民への支援は、さまざまな世代の孤立防止、地域で元気に暮らす住民の増加につながります。今回、「ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支援する～」をシンポジウムのテーマとし、ひきこもりの実態や実際の支援の取組、課題や今後の方向性などを提示することで、行政が支援に取り組む必要があると理解してもらうことを目的としています。関心のある方のご参加をお待ちしています。

当日の構成(予定)

基調講演

● 多様な生き方を支えるためのひきこもり支援

中島 修 文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 教授 博士(社会福祉学)

調査研究結果発表

● 基礎自治体において取り組むべきひきこもり支援の内容やその展開方策

齋藤 彬子 (公財) 東京市町村自治調査会 調査部 研究員

パネルディスカッション

● 第1部 行政が取り組むひきこもり支援

● 第2部 支援団体によるひきこもり支援

● 第3部 自治体のひきこもり支援についての意見交換

<登壇者>

コーディネーター 中島 修 文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 教授 博士(社会福祉学)

パネリスト 大戸 靖彦 文京区 福祉部 生活福祉課長

佐藤 洋作 認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 代表理事

林 恭子 一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事

日時

2021年10月19日(火) 13:30～16:30

会場

府中市市民活動センタープラッツ バルトホール
(東京都府中市宮町1丁目100番地 ル・シーニュ5階)

参加費 無料

主催

公益財団法人 東京市町村自治調査会
(2021年度調査研究結果発表シンポジウム)

※申込方法は下記事務局へお問い合わせください。

2021年度調査研究結果発表シンポジウム事務局

(株式会社トライ内 10:00～18:00 土日・祝日除く) TEL: 03-3824-7231

※シンポジウムの詳細は「ぐるり39」9月号に掲載予定です。





オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

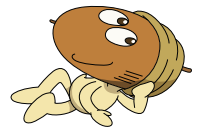
市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

かれん



シーナ



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

1

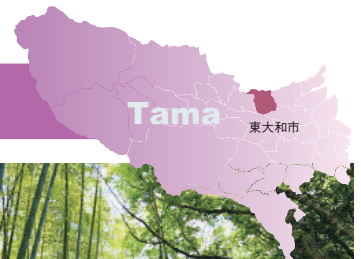
狛江市

特別緑地保全地区の保護と啓発活動

狛江市では、狛江駅北口駅前に広がる「狛江弁財天池特別緑地保全地区」を狛江弁財天池特別緑地保全地区市民の会（以下、市民の会）と協働して、保護と自然環境啓発活動を行っています。

市民の会は、保全地区の清掃や下草刈りを行うほか、毎月第2日曜日の開放日には、市民の会の会員が自らガイドを務め、保全地区内で撮影した動植物のパネル展や勉強会を行うなど、保全地区の魅力を伝えるとともに、市民が四季折々の自然を楽しむことができるよう取り組んでいます。

【問合せ先】 狛江市 環境政策課 TEL 03-3430-1111



2

東大和市

東大和狭山緑地管理事業

市の北部に位置する狭山緑地は、市民等のやすらぎの場、憩いの場として1985年に開園しました。市では、シンボルである狭山緑地の緑を、市民をはじめとした皆様とともに適切に保全し、豊かな自然を次世代の人々に引き継ぐことを目的に、緑地内の見回り、木道の修繕、倒木や枯枝の処理などの管理事業を行っています。

狭山緑地は、植物や昆虫類、鳥類などを身近に観察できる貴重な緑地です。学校教育の場としても活用しており、市内各小学校の児童たちが、五感を使った体験を通じて楽しみながら人と自然の関わり大切さを学習しています。

【問合せ先】 東大和市 環境課 TEL 042-563-2111



3

三宅村

三宅島緑化プロジェクト支援事業

三宅島は2000年の噴火災害により、いまだ島内の森林区域内には立ち枯れたままの枯損木^{こそんぼく}が残存し、森林の更新阻害や土砂災害等の二次災害を引き起こす要因となっているため、持続的な緑化対策事業の実施が必要です。

例年の三宅島緑化プロジェクト支援事業によって、少しずつ島内の植生が戻りつつあります。引き続き緑化プロジェクトを実施することにより、森林植生の早期回復に向けた植栽をすることで、二次災害の防止や土壌の流出防止を図ります。

【問合せ先】 三宅村 企画財政課 TEL 04994-5-0988





わたげ探偵!!こんなの調べてみました!

～ ぐるっと多摩探訪 その8 ～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域※には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!

今回は **多摩地域を南から北に歩いてどんなスポットがあるか探してみたいよ♪**

日野市



土方歳三の像

写真の人物は新選組の副長であった土方歳三で、日野は歳三生誕の地だよ。

市内には「新選組のふるさと歴史館」、「日野宿本陣」、「石田寺」など歳三にゆかりのある施設がたくさんあるよ。



高幡不動尊金剛寺の山あじさい

5月後半から高幡不動尊の境内の山あじさい園では色とりどりの山あじさいが咲き誇っているよ。6月から7月にかけて毎年あじさいまつりが開催されるんだ。

写真は涼しげな青が印象的な「黒姫アジサイ」だよ。

府中市



下河原線広場公園

国鉄下河原線の廃線跡が緑道や公園として整備されていて、市民の憩いの場になっているんだ。

この公園には線路が埋め込まれたり、プラットホームや駅舎を模した建物があって、鉄道が走っていた当時の雰囲気を味わえるよ。



交通遊園

郷土の森公園内に小さなテーマパークがあったよ!

ゴーカートに乗って園内を颯爽と走ったり、機関車や路面電車、消防車や路面バスも展示されているんだ。

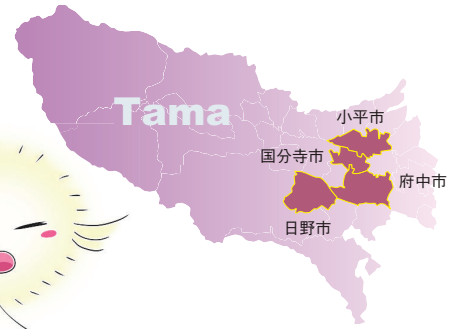


※ 多摩地域：東京都のうち、23区と島しょ地域を除く全域のこと。

島しょ地域：大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・父島・母島のこと。

ぐるっと多摩探訪 前回までのあらすじ

多摩地域を南から北に街歩きで北上して多摩地域の隠れた魅力を調査しているわたげ探偵、町田市からスタートし、前回（2021年5月号）は多摩市まで調査しました。今回は日野市～小平市まで散策をしました。わたげ探偵の街歩きレポートをご覧ください。



国分寺市



姿見の池

西国分寺駅から歩いて5分ほどのところに町の喧騒から隔離された静謐な雰囲気^{せいひつ}の池があるよ。

池がある恋ヶ窪付近は鎌倉時代の宿場町で、当時遊女たちが朝な夕なに自らの姿を池に映し見ていたことから「姿見の池」と呼ばれたんだって。



国指定史跡 武蔵国分寺跡の金堂

国分寺市の名前の由来である武蔵国分寺跡も西国分寺駅から徒歩圏内。

金堂は本尊仏を安置する仏殿の跡だよ。

写真は基壇とよばれる建物の基礎部で、発掘調査を踏まえて当時の素材や色味を現代の素材で再現しているんだって。

小平市



小平市ふれあい下水道館

ユニークな展示方法が楽しい施設が小平市にあったよ。人々が生活で利用した水がどのように下水処理されるかわかりやすく展示しているよ。

「洞窟階段」で地下5階まで下ると実際に使われている下水道管を見ることができるんだ。（コロナ禍の影響により映像でのライブ中継の場合があります。）



日本一丸ポスト（高さ 2.8m）

小平市内には、昔懐かしい丸型ポストがたくさん残っていて、都内で第1位の保有数なんだって。それを記念して設置された見上げるほどに大きなポストが小平駅前設置されているよ。

日本で一番大きいんだよ。

実際に利用もできるので久しぶりに友達に手紙を出そうかな。



- ◆今回紹介した施設の最新情報は各施設のホームページなどでご確認ください。
- ◆コロナ禍の影響により開館時間の変更、入館制限、アトラクションの利用制限が発生している可能性があります。ご利用・ご訪問の前に各施設のホームページなどでご確認ください。

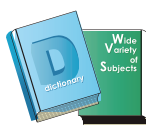


多摩交流センターだより

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

檜原村お祭り見学会～郷土芸能と保存会の想いに触れる～

- 日時** ① 8月28日(土) 11:10～16:00頃
 ② 9月11日(土) 18:40～23:00頃
 (終了が深夜になる場合がありますのでご注意ください。)
 (いずれも主催者等の都合や新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性あり、詳しくは下記問合せ先へ。)
- 場所** 檜原村各集落の祭り会場
 (集合・解散は「檜原村教育の森」もしくは「エコツーリズムインフォメーションセンター」)
- 内容** 三匹獅子舞 神代神楽
 都指定の無形民俗文化財にもなっている、檜原村の郷土芸能に触れる見学会を開催します。
- 参加費** 3,000円
 (交通機関の関係で宿泊が必要な方は別途ご相談ください。)
- 主催** 檜原学芸社
- 問合せ** 檜原学芸社 担当 熊野・小澤
 TEL 042-598-6928 (NPO 法人フジの森内)
 E-mail hinohara-gakugeisha@outlook.jp



特定非営利活動法人

東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

2021年9月講義案内

(受講料: 会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
9月2日(木) 14:00から	天平の“巨大な夢”と万葉の心	星野 信夫 氏 (国分寺市観光協会会長・前国分寺市長)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
9月9日(木) 14:00から	千葉県佐倉高等学校鹿山文庫について ー幕末佐倉藩校由来についてー	大澤 真澄 氏 (東京学芸大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
9月16日(木) 14:00から	外国人の日本観光150年史	内田 宗治 氏 (フリーライター・元ブルーガイドシリーズ編集長)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
9月23日(木) 14:00から	享保十八年の疫病流行	松尾 美恵子 氏 (学習院女子大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

【問合せ先】TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、9月講義を中止させていただく場合があります。
 詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

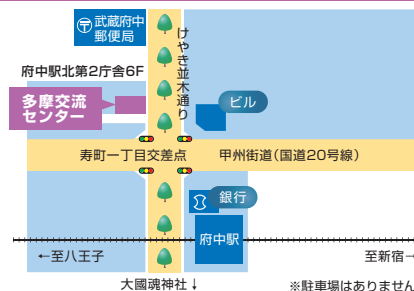
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



理事会・評議員会を開催しました

2021年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容をご紹介します。

2020年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました。)

※下記の内容(一部を除く)は、当調査会ホームページ(<https://www.tama-100.or.jp>)にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

- ①市町村の広域的・共通課題についての調査研究
(5テーマについて調査研究報告書を発行)
・自治体における長期休暇取得等に伴う生産性維持に関する調査研究
・多摩・島しょ地域自治体におけるSDGsに関する調査研究
・社会的課題の解決に向けたPFS/SIBの活用に関する調査研究
・自治体における効果的な情報発信媒体に関する調査研究
・基礎自治体におけるひきこもりの支援に関する調査研究
- ②市町村職員の身近な疑問等に関する調査
(情報提供誌「ニュース・レター」に掲載)
「かゆいところに手が届く! 多摩・島しょ自治体お役立ち情報」
- ③毎年度実施の調査(4件の調査報告書を発行)
・多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～2020(令和2)年版
・多摩地域ごみ実態調査2019(平成31・令和元)年度統計
・市町村財政力分析指標(平成22年度から平成31・令和元年度まで)
・市町村税政参考資料(平成22年度から平成31・令和元年度まで)

2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業
- ③みどり東京・温暖化防止プロジェクト

3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)
- ②シンポジウム「自治体職員も副業・兼業の時代! ～役所はどう変わる? 地域はどう変わる?～」開催
- ③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」発行

4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

- ①交流の場の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催(TAMA市民塾との共催)
- ④多摩地域に関する情報の発信等

【収支決算】(貸借対照表)

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	141,739 千円	負債の部	29,170 千円
固定資産	4,568,302 千円	指定正味財産	3,790,000 千円
		一般正味財産	890,871 千円
合計	4,710,041 千円		4,710,041 千円

編集後記

- コロナ禍で迎える2回目の8月となりました。コロナ収束の決定打と言われるワクチン接種が進められていますが、マスク着用が必要ない日常に戻るまではもう少し時間がかかるようです。高温・多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクがより高まるので、こまめに水分補給するなど対策を講じることが重要です。
- 8月は一年で最も平均気温が高く、最高気温も8月に集中しています。気象庁の過去のデータを見ると、最高気温の上位10位のうち9回が8月で、そのうち8回が2010年以降となっています。地球温暖化がはじめて問題となったのは1988年(昭和63年)といわれており、それ以降、地球温暖化が原因とされる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの抑制などの取組が進められてきましたが、温暖化に歯止めが掛かっていない状況が顕著に表れています。
- 世界の平均気温は19世紀後半に比べ既に約1℃上昇していますが、1℃の上昇だけでも世界各地で気候変動による甚大な被害をもたらす異常気象が頻発しています。仮に気温上昇が19世紀後半に比べ2℃を超えた場合、これまで以上に人間への健康被害や洪水被害、干ばつによる水・食料不足、貧困や紛争、経済的打撃など多大な影響があると警告されています。特に発展途上国の貧しい人々への影響はより深刻だと言われます。そのためによりリスクの低い1.5℃に抑えるために、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して各国の取組が進められています。
- ところで気候変動がコーヒーに及ぼす2050年問題はご存知

でしょうか。コーヒーは赤道付近のいわゆるコーヒーベルトと呼ばれる地域で主に栽培・収穫されています。コーヒー豆の中で最も多く生産されているのが「アラビカ種」ですが、気候変動の影響を特に受けやすく、2050年までに生産量が現在の50%までに落ち込むと予想されています。これがコーヒーの2050年問題とされています。

- コーヒーベルトから少し離れますが、東京都の小笠原諸島と沖縄でも「アラビカ種」のコーヒーを栽培しています。なかでも小笠原は、国産コーヒー発祥の地です。1878年頃、日本で初めてコーヒーの栽培が試みられ、太平洋戦争敗戦によるアメリカ統治下から返還された1968年以降に野生化したコーヒーの木を発見し栽培が始められ現在に至っており、年間数百キロ生産されています。小笠原島内や都心部でも提供する店があるようです。軽めのコーヒーなのでアメリカンコーヒー派の他、紅茶派の方にもお勧めです。
- 去る6月29日に、今年度から当調査会で実施する「オール東京62気候変動対策研究会」の最初の活動として「62市区町村ミーティング」を開催しました。今後、「緩和策」と「適応策」の2つの分科会に分かれ事業を展開していきます。気候変動対策は、SDGs(持続可能な開発目標)にも掲げられている喫緊の課題です。この活動を、少しでも地球温暖化の抑制に繋げていきたいと考えます。そして、コーヒーブレイクを楽しむためにも、気候変動対策を意識した行動を重ねていきたいと思います。(K. K.)



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第5回

新島村



身近な場所で歴史を発見！
今回はわたげのボクが「十三社神社」と「コーガ石の家」を紹介するよ。

じゅうさんしゃ

十三社神社

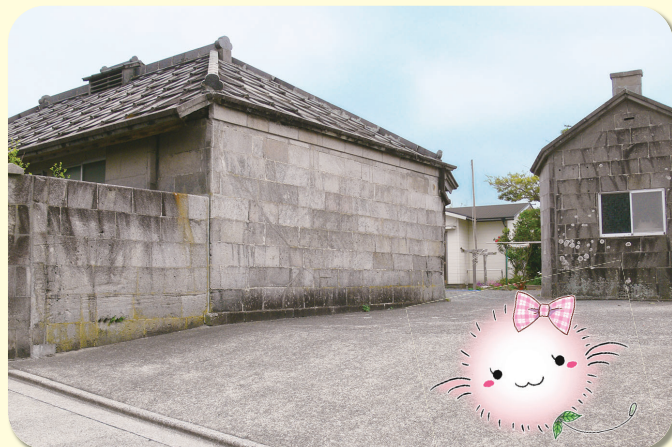


十三社神社は、伊豆諸島を開拓したといわれる事代主命など新島と関係のある13の神を祀る総社として創られた伊豆諸島最大規模の神社だよ。

現在の本殿は1940年に新築されたもので村内北部に位置しているけど、慶安2年に火災が起きるまでは村の中心部にあったんだって。

木遣りを音頭に2頭の獅子が舞う「獅子木遣り」、「ヒツシ」と呼ばれる赤い鉢巻を着けて行われる祭事の「神楽」は東京都の無形文化財に指定されているんだ。

コーガ石の家



コーガ石はスポンジ構造をもったガラス質の耐火性能が高い軽石で、比重が1.0以下のため水に浮いてしまうほど軽く、やわらかく加工しやすい特徴があるよ。日本では東京諸島の新島のみで産出されているんだって。

特に大正時代の間に造られた総コーガ石造りの建造物は一部が登録有形文化財になるなど新島を代表する建造物だよ。平屋状のものから、複数階建て、洋風のアーチ状となっているものまで種類も様々だよ。

【現地案内】新島村は、新島と式根島で構成されています。

◆ 新島・式根島へのアクセス

《航路》竹芝桟橋から高速ジェット船で
約2時間50分(新島)
約3時間10分(式根島)

竹芝桟橋から大型客船で
約10時間35分(新島)
約11時間5分(式根島)

《空路》調布飛行場から約40分(新島)

◆ 十三社神社

東海汽船「新島港」より
車10分、徒歩30分
新中央航空「新島空港」より
車10分、徒歩30分

◆ コーガ石の家

村内に点在



【情報・写真提供】新島村産業観光課 TEL 04992-5-0284

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年8月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館 4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています